|  |  |
| --- | --- |
| 令和6年度（2024年度）用 | 小学校社会科用 |

|  |
| --- |
| 「新編 新しい社会」**知識の構造図****【4年】** |

令和6年（2024年）1月版

東京書籍

□　知識の構造図　県の広がり

宮城県は、西から東にかけて、山地、平野、海岸と違いがあり、仙台市を中心に都市や交通が広がっており、地域の特徴を生かした産業がある。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　⑧

中心概念 まとめる

（概念的知識）

宮城県は、東北地方の中心に位置し、東は太平洋に面しており、四つの県に囲まれている。

①

宮城県の地形は、西側には山地が多く、中央には平野が広がり、東側には海岸がある。

③

宮城県の土地利用は、平野には市街地や田が広がり、山地や海岸には森林が多く広がっている。

④

宮城県は県庁所在地の仙台市を中心に、北部に大崎市、海側に石巻市や気仙沼市、南部に白石市などの多くの市町村からなっている。

⑤

宮城県には、平地や海沿いに、新幹線や高速道路、空港や港が多くあり、都市を中心に交通が発達している。

⑥

宮城県には、地域それぞれの特徴に合わせた様々な産業がある。また、伝統的な産業も多い。

⑦

社会的事象

（具体的知識）

・港・鉄道　・空港・交通　・高速道路

・人口・市　・町　・村・県庁所在地

・かじゅ園　・牧場　・田　・畑　・森林・土地利用　・市街地

・山地　・川　・沼・平地　・海岸・地形

・太平洋・東北地方・宮城県

・伝統的な産業・工業　・商業・産業　・農業

・水産業

用語・語句

問題解決的な

学習の過程　　 つかむ　　 調べる

□　知識の構造図　水はどこから

飲料水を供給する事業は、安全で安定的に供給するしくみがつくられ、計画的に改善が進められており、地域の人々の健康な生活の維持と向上に役立っている。

⑨⑩

中心概念 まとめる

（概念的知識）

浄水場では、いろいろな設備を使って川の水をきれいにし、毎日安全できれいな水をつくっている。

③④

・じょう水場

・急速ろか

・かん速ろか

浄水場ができる前は、水が足りなくなったり、病気が起こったりしていた。浄水場などの水道施設ができて、安全できれいな水のおかげで、わたしたちは健康な生活が送れるようになった。　　　　 　　 ⑦

・井戸

・水道のれきし

浄水場では、安全できれいな水をつくるために、いろいろな工夫をしている。安全できれいな水は、たくさんの人の力によって守られている。

　　　　　 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　⑤⑥

・水質けんさ

・水道法

水は、生活や産業のいろいろな場面で使われる大切な資源であり、わたしたちは、毎日の生活の中で大量の水を使っている。

①

ダムは大量の水をため、水道で使う川の水の量を調整している。また森林には水をたくわえる働きがあり、水源の森を守る取り組みが行われている。 ⑧

生活に欠かせない安全できれいな水をいつまでも使い続けるためには、節水したり水を大切に使ったりするなど、身のまわりの環境のために自分たちができることを考えることが大切である。　　　　　⑪

社会的事象

（具体的知識）

・節水

・ビオトープ

・飲料水

・しげん

・水げんの森・「緑のダム」・ダム　・水不足

用語・語句

問題解決的な

学習の過程　　つかむ　　　 調べる　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　いかす

□　知識の構造図　ごみのしょりと利用

ごみを処理するための様々な取り組みは、衛生的な処理や資源の有効利用ができるように進められ、地域の人々の生活環境の維持と向上に役立っている。

⑪

中心概念 　　まとめる

（概念的知識）

・しげん化物・そ大ごみ

・リサイクル

きまりに基づいて分別・収集されたごみは、種類ごとに違う処理施設に運ばれている。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　②

・しゅう集・せいそう工場・リサイクルプラザ

清掃工場では、コンピューターを使い、環境に配慮しながら24時間ごみを燃やしている。ごみのかさがへり衛生的な処理につながっている。

 ③④

・せいそう工場・コンピューター・えいせい的なしょり

ごみを燃やしたときに出る灰や処理熱は、適切に処理されたり、有効に利用されたりしている。

⑤⑥

・しょぶん場・ようゆうスラグ・熱の利用

集められた資源化物や粗大ごみは再利用され、資源の節約に役立っており、リサイクルを進めるには人々の協力が必要である。

⑦⑧

家庭・学校・商店・地域の人々は、ごみを減らすために様々な工夫に取り組んでおり、自分たちも、できることを考え、取り組むことが大切である。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　⑫

・「続けて取り組む」

ごみの処理は衛生的に行われるようになり、市では、さらにごみを減らすことやごみ出しのルールを守ることなどの課題に取り組んでいる。

⑨⑩

・かんきょうの４Ｒ・ルール・しょりがむずかしい

ごみ

ごみは、決められた日に分別して出されている。

①

社会的事象

（具体的知識）

・分別　・ごみステーション

用語・語句

問題解決的な

学習の過程　　　つかむ　　　　　　 調べる　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　いかす

□　知識の構造図　風水害からくらしを守る

地域の関係諸機関や人々は自然災害に対し、様々な協力をして対処してきた。また、今後想定される災害に対し、様々な備えをしている。

⑦⑧

 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　⑦⑧

中心概念 　　まとめる

（概念的知識）

風水害に対処するため、国や県が中心となり協力して堤防やポンプ場の整備を進め、千葉市でも一時的に雨水をためる施設をつくるなどしてきた。昔の人々は水塚をつくって避難するなどの対処をしてきた。 ②

・ていぼう・水塚・対さく

千葉県では、風水害に備えて、計画的に川幅を広げたり、堤防を整備したりするなどの対策を進めている。また、土砂災害避難訓練を行ったり、防災情報を伝えるウェブサイトをつくったりして、県民の防災意識の向上に取り組んでいる。 ③

・土砂災害ひなん訓練

・公助

・防災いしき

避難所運営委員会の人々は、風水害に備えて、市と協力して避難所運営訓練をしたり、地域の人への情報発信をしたりしている。また、食料や生活用品を備蓄して、市や県からの支援が届くまで、地域で支え合えるようにしている。 ⑤

・ひなん所運えい委員会

・共助

千葉市では、風水害に備えて地域防災計画をつくり防災備蓄倉庫を設置するなど市の取り組みを進めるとともに、関係機関と協力できるようにしている。また、防災情報の発信を強化したり、ハザードマップの普及に取り組んだりすることで、市民の防災意識をさらに高められるようにしている。 ④

・ハザードマップ

・地いき防災計画

・防災びちく倉庫

マイ・タイムラインをつくって、自分の家が浸水想定区域にあることを初めて知った。備蓄が不十分だとわかったので、必要なものを家族と準備するなど、自然災害に備えて自分たちにできることを考えることが大切である。 ⑨

・マイ・タイムライン

家庭では風水害に備えて様々な取り組みをしているが、取り組みには差があり、自助の取り組みは十分とはいえない。 ⑥

・ひなん場所

・自助

・非常持ち出し品

２０１９年に起きた風水害では、千葉市が災害対策本部を設置して、消防や警察と協力したり、避難者の支援をしたりした。自衛隊も救助活動に参加した。近年、大雨は増えてきており、風水害への備えが大切になっている。 ①

・風水害・災害対さく本部・自衛隊

社会的事象

（具体的知識）

用語・語句

問題解決的な

学習の過程　　　つかむ　　　 調べる　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　 いかす

□　知識の構造図　残したいもの 伝えたいもの

県内の文化財や年中行事は、長い間地域の人々が協力して受け継いできたものであり、それらには地域の発展など人々の様々な願いが込められている。

⑥⑦

中心概念 まとめる

（概念的知識）

八ツ鹿踊りは、約３８０年前から、「よいことがたくさんおこりますように。」という願いを込めて地域の人々に踊り継がれてきた。国や市の支えもあり、現在でも、八ツ鹿保存会の人々によって子どもたちに受け継がれている。

③④⑤

地域に古くから残る文化財や年中行事には、人々の願いが込められており、地域社会の一員としての自覚を持って保存・継承のために何ができるか考えていくことが大切である。

⑧⑨

新居浜太鼓祭りは、約千年前にはじまったと伝わり、地域の産業の発展とともに豪華絢爛になった。昭和時代から子ども太鼓台の運行も始まり、地域の団結の願いを込めた平和の祭典として受け継がれている。

③④⑤

道後温泉本館は、約１３０年前の町長さんが１００年先を考えて改築したことがきっかけとなって、町のシンボルになった。その後、地域の人や観光客にも大切にされる建物になり、国指定重要文化財にも指定され、大切に残されてきた。　　　　　　　　　　　　　　　　　③④⑤

県内の各地域には、古くから残る建物や芸能、年中行事がある。

①②

社会的事象

（具体的知識）

・伊予万歳

・古くから残る建物

・古くから伝わる芸のう

・昔から続く祭り

・文化ざい・道後温泉本館

・きょう土芸のう・八ツ鹿おどり

・祭り・新居浜太鼓祭り

用語・語句

問題解決的な

学習の過程　　　つかむ　　　調べる　　　　　　　　　　　　　　 　　　 いかす

□　知識の構造図　谷に囲まれた台地に水を引く

様々な苦心や工夫を重ねて用水を開発した先人の働きにより、人々の生活の向上への願いが実現し、地域が発展してきた。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　⑪⑫

中心概念 まとめる

（概念的知識）

白糸台地に住んでいた人々は、深い谷に囲まれた地形の特徴から、水不足に悩まされていた。農業用水の安定確保が課題であり、人々の願いであった。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　②

・水不足・台地・深い谷

布田保之助は、土地の高い白糸台地に水を送るために、水が落ちる力を利用するとともに、石の管をつなげて水を送るしくみを考えついた。

⑤⑥

・等高線・水が落ちる力・水がふき上がる原理

布田保之助のたのみを受けた橋本勘五郎ら石工たちは、熊本城の石垣の技術を取り入れて丈夫な橋をつくり、一年八か月で完成させた。

⑨

・石工

・橋本勘五郎・熊本城の石垣のぎじゅつ

布田保之助は、水がもれないように石の管を特別なしっくいでつなぐしくみを取り入れるとともに、丈夫なアーチ型の石橋にしようと考えた。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　⑦⑧

・石の管・しっくい

布田保之助は、笹原川から水を取り入れて用水をつくり、水の通る橋をつくって、白糸台地に水を送ろうとした。

③④

・用水・笹原川

通潤橋と用水路の建設によって、白糸台地には水田が広がり、人々の生活は向上した。山都町や熊本県の人々は、清掃活動のボランティアをしたり、昔の方法で修理したりすることで、通潤橋を未来に残していこうとしている。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　⑩

・水田・ボランティア・熊本地震

熊本県の白糸台地には、布田保之助を中心とした人々が石を組んでつくった通潤橋という水を通すための橋がある。

①

①

・通潤橋

・布田保之助・熊本県山都町

・白糸台地

社会的事象

（具体的知識）

用語・語句

問題解決的な

学習の過程 つかむ　　　 調べる

□　知識の構造図　こけしをつくるまち・蔵王町

蔵王町では、伝統的な産業であるこけしづくりを生かしたまちづくりを進めるとともに、その伝統や技術を守り、未来につなぐ取り組みを工夫している。

⑦

中心概念 まとめる

（概念的知識）

蔵王町では、原料の木がとれやすい環境を生かして古くからこけしづくりが行われており、現在は特産品となっている。

②③

・原料・山村・木地師

蔵王町では、伝統的なこけしづくりを守るとともに、ほかの地域から工人を募り、新しい形のこけしづくりにも挑戦している。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　④⑤

・伝統的なぎじゅつ・工人

蔵王町では、伝統のこけしづくりを未来につなげるために、若手工人の移住を進めたり、新しい販売方法を工夫したりしている。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　⑥

・インターネットの

通信はん売・移住

山に囲まれた蔵王町の遠刈田温泉では、伝統的な産業として、昔からこけしづくりが行われている。

①

・伝統的な産業

・伝統マーク

社会的事象

（具体的知識）

用語・語句

問題解決的な

学習の過程　　 つかむ　　　　　調べる

□　知識の構造図　国際交流に取り組むまち・仙台市

仙台市では、市・団体・地域が協力して、「共にくらす」ための（多文化共生の）まちづくりに取り組んでいる。

⑦

中心概念 まとめる

（概念的知識）

仙台市は、スポーツのイベントなどを開き、国際姉妹都市や国際友好都市との交流を中心に長い間様々な国際交流をしている。

②③

・国際交流・国際姉妹都市

・友好都市

・

SenTIAでは、外国人住民のサポートだけではなく、外国の文化を伝える活動に取り組み、「共にくらす」ことを目指している。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　④⑤

・共にくらす・SenTIA・留学生交流委員

・

市民は、共にくらすために、防災活動などを通して外国人住民と交流活動を行っている。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　⑥

・多多文化防災ワークショップ

・防災リーダー

仙台市では、年々外国人住民が増えており、様々な国籍の人との交流が行われている。

①

・外国人住民・国際交流

社会的事象

（具体的知識）

用語・語句

問題解決的な

学習の過程　　 つかむ　　　　　調べる

□　知識の構造図　美しい景観を生かすまち・松島町

松島町では、歴史ある美しい景観や自然環境を生かしたまちづくりを受け継ぎ、広めるとともに、未来に残していくための取り組みを続けている。

⑦

中心概念 まとめる

（概念的知識）

松島町では、歴史ある美しい景観を守るために、景観条例をつくったり、住民が勉強会を開いたりするなどして、地域で協力している。

②③

・名勝 ・国宝

・伊達政宗

・松尾芭蕉

松島町では、町や団体、住民が協力して、松や湾の手入れなど美しい自然と景観を守る取り組みをするとともに、観光客を増やす活動をしている。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　④⑤

・観光

・名物

・東日本大震災

自分たちが住む県には、伝統的な産業や国際交流の取り組み、自然景観（古いまちなみ）などを生かしたまちづくりに取り組む特色ある地域があり、様々な人々が関わり合っている。 ❶

松島は日本三景の一つに数えられる景勝地であり、県内の観光地で最も観光客が多い。

①

歴史ある美しい景観を未来につなげていくために、「松島こども英語ガイド」や松島高校に観光科をつくるなど、次の世代にむけた新しい取り組みを行っている。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　⑥

・「観光科」

・こども英語ガイド

社会的事象

（具体的知識）

・日本三景

・景観

・特色ある地いき・自分たちのまち

用語・語句

問題解決的な

学習の過程　　 つかむ　　　　 調べる　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 いかす

□　知識の構造図　古いまちなみを生かすまち・登米市登米町

登米市登米町では、「みやぎの明治村」とよばれる伝統的な文化財やまちなみを守り、それらを生かしたまちづくりに取り組んでいる。

⑦

中心概念 まとめる

（概念的知識）

登米町では、人々が力を合わせて「みやぎの明治村」の古いまちなみを守り、観光に生かしている。

④⑤

・観光・景観条例・観光ガイド

江戸時代から城下町として栄えてきた登米のまちの人々は、登米の歴史に誇りをもち、歴史ある景観を保護している。

②③

②③

・水運

・城下町

・守り伝える

登米市登米町には、約５００ｍ四方にたくさんの古い建物があり、歴史あるまちなみが保存されている。

①

①

自分たちが住む県には、伝統的な産業や国際交流の取り組み、自然景観（古いまちなみ）などを生かしたまちづくりに取り組む特色ある地域があり、様々な人々が関わり合っている。　　　　　　　　　　　　　❶

登米町では、古くから伝わる景観や文化財、文化を未来へつないでいくために、小学生による教育資料館の清掃活動や登米能継承活動など、次の世代やほかの地域の人々にむけた新しい取り組みを行っている。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　⑥

・小学生のせいそう

活動・登米能・多言語ガイドペン

社会的事象

（具体的知識）

・「みやぎの明治村」・景観

・特色ある地いき・自分たちのまち

用語・語句

問題解決的な

学習の過程　　 つかむ　　　　 調べる　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 いかす